

1 教育理念と目的

(1) 教育理念

対象の人間としての尊厳を維持しながら、高度に体系化された専門的知識・技術を基盤とした科学的根拠に基づく実践を提供し、常に最良の健康状態の実現を目指す保健医療専門職としての看護職者・診療放射線技師を養成します。

さらに、将来、群馬県内のみならず国際的にも活用可能な研究成果を産出するとともに、わが国における最高水準のEBP（Evidence Based Practice）の創造・開発・普及に携わり、保健・医療・福祉環境における技術革新に貢献できる人材としての基盤を築きます。

(2) 教育目的

教育理念の実現を目指し、本学の存在する群馬県の県民をはじめ、様々な地域に生活する多様な人々の生涯にわたる健康水準の維持、向上に貢献する方法を学びます。この過程を通して、豊かな人間性を培い、変動する社会の中で個々の役割を担いながら、自然と共生し独自の文化を育み生活する人間に対する理解と関心を深めます。

また、科学的根拠に裏付けられた専門的知識・技術及び高い倫理的判断力を身につけ、常に対象の人間としての尊厳を維持しながら、より質の高い実践を開発・提供できる保健医療専門職としての基盤を築きます。

2 卒業生の特性

本学は、卒業生に期待する特性として次の6項目を掲げ、4年間の基礎教育課程を提供し、その獲得を支援します。

- わが国、特に群馬県における保健医療チームの一員として、科学的根拠に基づく専門的知識・技術を駆使し、責務を全うするための基礎的能力を持つ。
- 対象の人間としての尊厳を維持しながら、科学的根拠に基づく実践を実現するための基礎的能力を持つ。
- 人間の生涯とその生活に対する普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示す。
- 群馬県民をはじめ様々な地域に生活する人々の健康維持・促進に対する強い使命感を持つ。
- 人種、民族、年齢、性別等の異なるあらゆる対象の福祉に貢献する専門職としての責務を自覚し、高い倫理性を備える。
- 科学及び学術の価値を確信し、EBPに意義を見出す。

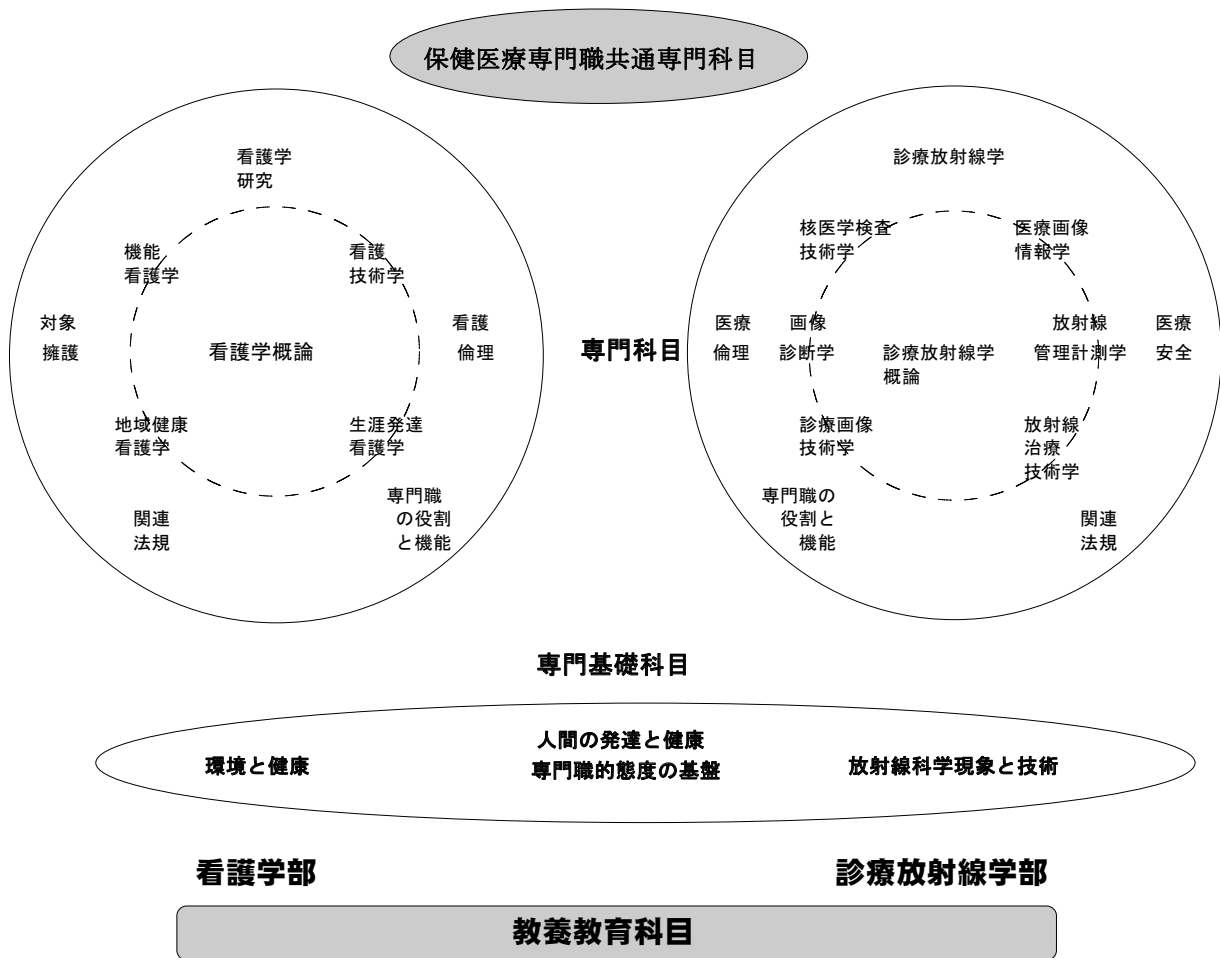
本学は、卒業生にこれらの特性を最大限に発揮しながら、保健医療専門職として自律的に発達することを期待します。

また、将来的には、EBPに採用可能な研究成果を産出し、保健・医療・福祉環境における技術革新を促進するとともに、群馬県のみならず国際的にも活用可能な新たなEBPの創造・開発・普及に貢献することを期待します。

3 カリキュラムの特徴

本学のカリキュラムには、人間としての尊厳を維持しながら、科学的根拠に基づいた実践を提供するために必要な基礎的能力の修得を支える「教養教育科目」を置きます。

同時に、保健医療専門職としての専門性発揮への準備を整えるために「専門基礎科目」、各学部独自の専門的知識・技術の修得を目指す「専門科目」、保健医療専門職として2学部共通して必要となる知識・技術・態度の修得を目指す「保健医療専門職共通専門科目」を置きます。これらの学科目が、学年進行に伴い系統的に学習できるように編成してあります。



(1) 教養教育科目

教養教育科目は、専門職業人としての高度な知識と技術を修得する以前に、人間としてより豊かに成長・発達する基盤を獲得することを重視する科目群です。

教養教育科目群は、第1に、人類の文化遺産や現代社会の持つ理念や使命とともに、現代の学問領域の基礎的知識や研究方法についての概略などを学び、豊かな人間性の基盤となる幅広い教養と知識を身につけることを目指しています。

第2に、個人の主体的な選択を尊重しつつ、大学の理念・教育目的である人間理解や科学的根拠への価値付けの基礎を築くことを意図しています。

本学は教養教育科目として、次の4学科目群、34科目を置いています。

ア 文化と生活

人類が育み継承してきた文化に対する関心を高め、豊かな精神生活を送ることに対する本質的価値を学ぶための科目群として「芸術」「異文化の理解」「歴史学の変化と発展」などを置いています。

さらに、県民をはじめ地域に生活する人間の保健・医療・福祉環境へのさらなる貢献を目指す本学の基本理念との連関を意図する「群馬県民の文化と生活」を置いています。

イ 個人と社会

現代社会に生きる人間に対する理解を深めるとともに、現代社会が産み出す矛盾をみつめ、その中であってなお、自己を信じ、よりよく生きようとする人間としての倫理性を築くための科目群です。「個人と集団」「人間と職業」「法と正義」「倫理と道徳」「社会と経済」「心の機能と構造」を置いています。

ウ 人間とコミュニケーション

人間の相互行為を円滑に進めるための基礎となるコミュニケーション方法を学ぶとともに、人種・民族などの異なる人々に対応できる人材としての素養を養うための科目群を置いています。

第1に多様な文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションを図るための科目群として、国連の公用語でもある「英語」「中国語」「フランス語」を置いています。また、県内にブラジル人が多く生活している等の特色を踏まえ、その公用語である「ポルトガル語」、及び本学との学術交流を踏まえ「韓国語」を置いています。

第2にコンピュータを媒体とした情報コミュニケーションの普及・拡大を受け、未来社会におけるコミュニケーション技術の拡大を視野に入れた科目として「情報科学」を置き、情報処理の基盤となる統計学の基礎や、コンピュータを活用した情報収集・発信の方法を学ぶ機会を提供します。

エ 環境と科学

環境と科学に配置した科目群は、教養教育として重要な学問を科学の体系との関連から理解し、これらの学問の成果が人間の生活や自然現象の解明とどのように関連しているかを学ぶ機会を提供します。この過程を通して科学の重要性とその活用に対する意識を高めることを目指しています。具体的には、「生活と科学」、「自然現象と科学」、「環境

科学」を置いています。

また、自らの身体を通して、人間の身体運動機能に関する科学的根拠を確認でき、かつ、保健医療専門職としての活動に不可欠な身体機能の維持・向上が可能な科目として「スポーツ科学」を置いています。

(2) 専門基礎科目

専門基礎科目は、看護職者・診療放射線技師の実践を支える独自の専門的知識・技術を学習するための前段階として学ぶ科目群です。専門基礎科目は、学部毎に3学科目群に分類しています。

看護学部	診療放射線学部
環境と健康	人間の発達と健康
人間の発達と健康	放射線科学現象と技術
専門職的態度の基盤	専門職的態度の基盤

「環境と健康」「人間の発達と健康」「放射線科学現象と技術」に配置した科目群に関しては、同じ名称の科目であっても、それぞれの学部の目的・目標を考慮し、独自の学科学目標、時間配分、方法を設定し展開します。

「専門職的態度の基盤」における科目群の多くは、保健医療専門職に必要な専門基礎科目として共通性が高いため、合同授業を展開し、看護職者、診療放射線技師の役割や専門性に対する関心を高める機会を提供します。

(3) 専門科目

専門科目は、看護職者・診療放射線技師の実践を支える専門的知識・技術を学ぶ科目群です。

■看護学部

これまで体系化されてきた看護学の専門領域を統合再編成し、新たにつぎの4領域に含まれる科目と、関連科目を置いています。

第1は看護技術学であり、質の高い看護に必要な基礎的技術とその応用力の獲得を追究します。

第2は生涯発達看護学であり、受胎から死に至るまでの人間の発達段階に沿った健康状態と看護を統合的に追究します。

第3は地域健康看護学であり、人々が生活する場の相違に焦点を当て、個人・集団に対する看護を追究します。

第4は機能看護学であり、看護学生を含む看護職者の成長・発達とその機能を追究します。

さらに、これら4領域すべての中核となる「看護学概論」、これらに関連し、専門職者としての基礎的態度及びE B Pを実現するための能力獲得に必要な「看護倫理学」「看護対象擁護論」「看護関連法規論」「看護専門職の役割と機能」「看護学研究」などの学科目を置いています。

■診療放射線学部

高度な知識・技術を提供すると同時に人間を理解・尊重できる専門職としての態度を培う科目を置いています。

これらの科目から構成される領域は、診療放射線技術学、画像診断学、診療画像技術学、医療画像情報学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、放射線管理計測学であり、診療放射線技師としての実践を裏付ける専門的知識・技術を追究します。

また、診療放射線学の基盤となる「診療放射線学概論」、これらに関連し専門職としての基礎的態度及びE B Pを実現するための能力獲得に必要な「診療放射線技師と医療倫理」「診療放射線技師と医療安全」「診療放射線技師と関連法規」「診療放射線技師の役割と機能」「診療放射線学研究」などの学科目を置いています。

(4) 保健医療専門職共通専門科目

保健医療専門職共通専門科目は、看護学部、診療放射線学部に共通する専門教育科目であり、各専門領域を越え保健医療専門職として求められる知識・技術・態度を学ぶための科目「保健医療情報組織学」「保健医療チーム連携論」「保健医療システム開発論」「保健医療国際連携論」をおいています。

なお、これら科目群の多くは、3・4年次に配置し、すでに学習してきた専門的知識・技術・態度を基盤として、看護職者、診療放射線技師の立場から保健医療専門職が他職種と連携・協働するための課題を学ぶ機会を提供します。

また、各々の専門性により、保健医療専門職の現象の捉え方や問題意識の特徴には共通性・相違性があり、保健・医療・福祉の向上を目指し、それぞれの専門性と役割を尊重する意義を学ぶ機会を提供します。

4 看護学部の教育課程

(1) 教育目的・教育目標

看護学部の教育目的・目標は次のとおりです。

ア 教育目的

本学の存在する群馬県の県民をはじめ、様々な地域に生活する多様な人々の生涯にわたる健康水準の維持、向上に貢献する方法を学ぶ。この過程を通して豊かな人間性を培い、変動する社会の中で個々の役割を担いながら、自然と共生し独自の文化を育み生活する人間に対する理解と関心を深める。

また、科学的根拠に裏付けられた専門的知識・技術並びに高い倫理的判断力を身につけ、常に対象の人間としての尊厳を維持しながら、より質の高い看護を提供する保健医療専門職としての基盤を築く。

イ 教育目標

■群馬県内をはじめ、様々な地域における保健医療チームの一員として専門性を発揮し、責務を全うするため、次の基礎的能力を育成する。

(ア) 対象の個別性に応じて看護技術を提供する能力

(イ) あらゆる職域において発揮可能な初歩的管理能力

(ウ) 対象の様々な健康状態に精通し、常にその維持増進を図る能力

(エ) あらゆる職域において心理・教育的支援を提供する能力

(オ) 対象の健康状態の正常・異常を査定する能力

■対象の人間としての尊厳を維持しながら、科学的根拠に基づく看護を展開するための基礎的能力を育成する。

■人間の生涯とその生活及び健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示す人材を育成する。

■群馬県民をはじめ地域に生活する人々の健康維持・促進に対する強い使命感と高い倫理性を持つ人材を育成する。

■人種、民族、年齢、性別などの異なるあらゆる対象の福祉に貢献する看護職者としての責務を自覚し、行動する人材を育成する。

■科学及び学術の価値を確信し、研究成果を活用した看護に意義を見いだす人材を育成する。

■看護職者として自律的に発達し、将来的には、看護実践に採用可能な研究成果を産出し、看護における技術革新を促進するとともに、わが国の最高水準を満たし、群馬県のみならず国際的にも普及する新たな看護実践の創造開発に携わる人材を育成する。

(2) 専門教育科目の特徴

ア 専門基礎科目

看護学的視点から人間の健康・環境及び生涯発達を理解するための基盤並びに看護専門職者として対象と相互行為を展開する基盤を育成するための学科目群です。「環境と健康」「人間の発達と健康」「専門職的態度の基盤」の3学科目群を置いています。

■環境と健康

「群馬県民の生活と健康」及び「環境と健康」概論・各論を置いています。この学科目群を通して、人間の内部環境、外部環境が健康状態にいかに関与しているかを学びます。

また、選択科目として、人類の歴史と放射線の関係とともに放射線の内部・外部環境への影響を学ぶ「人間と放射線」、人間の診療画像を通して、内部環境を理解するための基礎的知識と技術を学ぶ「医療画像情報解析学」を配置しています。

■人間の発達と健康

「人間の発達と健康」概論・各論（導入実習）・各論Ⅰ～Ⅵを置いています。この学科目群を通して、母胎期から終末期までの人間の生涯発達を理解し、各発達段階に沿って、正常な健康状態及び正常から逸脱した健康状態と主な治療などを学ぶ機会を提供します。生涯発達看護学を学ぶために不可欠な発達段階の相違による対象理解の基盤を育成します。

■専門職的態度の基盤

「相互行為展開論」「生命倫理学」「社会制度と福祉」「生活と研究」を置いています。この学科目群を通して、対人関係の構築、対象の福祉への貢献を前提とした倫理規範を確立する必要性、科学的知識の生成・活用に対する価値付けなど、専門職に求められる態度の基盤を育成します。

イ 専門科目

「看護技術学」「生涯発達看護学」「地域健康看護学」「機能看護学」の概論・各論及び関連科目である「看護学概論」「看護倫理学」「看護対象擁護論」「看護専門職者の役割と機能」「看護関連法規論」「専門的機能と看護実践」「看護学研究」を次の4学科目群に分類しています。

看護の本質と看護技術	人間の生涯発達と看護
地域で生活する人々の健康と看護	看護専門職の役割と機能

専門科目群においては、看護実践の原理・原則となる基礎的知識・技術を学ぶ科目、これを核として、発達段階や、生活する場の相違に応じた実践の共通性・普遍性を理解する科目を置き、対象の個別性に合わせた看護を展開するための基礎的能力を段階的・系統的に学びます。さらに、看護学の研究成果を理解し、実践に活用する機能を高め、教育的、管理・政策的な側面から看護職者の成長発達を支援する必要性を学ぶ機会を提供します。

■看護の本質と看護技術

「看護学概論」「看護技術学概論・各論」「看護倫理学」「看護対象擁護論」を置いています。

看護学概論・看護技術学概論・各論Ⅰ～Ⅵ

看護職者としての実践を展開する上で基盤となる知識・技術の獲得を目指す科目群です。特に看護技術学概論・各論においては、現実の臨床環境における看護職者の行動を分析した研究成果を活用し、看護職者の行動を構成する各側面を学び、これらを統合する機会を提供します。

看護倫理学、看護対象擁護論

看護職者が、実践を展開する過程において対象の人権擁護に配慮し、常に人として尊重する態度を確立するために必要な基礎的知識を学ぶ科目です。

■人間の生涯発達と看護

「生涯発達看護学概論・各論」を置いています。

生涯発達看護学概論・各論Ⅰ～Ⅵ

生涯発達看護学は、従来の看護学の各専門領域を生涯発達という観点から再検討し、新たに構成した学問領域です。「母胎期」「乳幼児期・学童期」「思春期・青年期」「成人期」「老年期」の各期を各論として展開します。

■地域で生活する人々の健康と看護

「地域健康看護学概論・各論」「人間集団と健康（疫学）」を置いています。

地域健康看護学概論・各論Ⅰ～Ⅳ・Ⅴ-1（家庭環境実習）・Ⅴ-2（公衆衛生看護実習）

地域健康看護学は、病院をはじめとする医療施設だけにとどまらず、家庭環境、保健・医療・福祉施設環境、学習環境、労働環境などの様々な場において生活する対象に焦点を当て、生活する場の相違により生じやすい健康問題の特徴を理解し、その特徴に応じた看護を個人・集団に展開するための知識・技術・態度を学ぶ科目です。

人間集団と健康（疫学）

人間集団の健康状態に影響する生活や環境の諸要因の理解を通して、疾病予防、健康の保持・増進に向けた科学的根拠に基づく地域保健活動の意義を学ぶ科目です。

■看護専門職の役割と機能

「機能看護学概論・各論」「看護関連法規論」「看護専門職の役割と機能」「専門的機能と看護実践」「看護学研究概論」「看護学研究Ⅰ（問題解決過程）」「看護学研究Ⅱ（EBP）」を配置しています。

機能看護学概論・各論Ⅰ～Ⅱ・Ⅲ-1（看護政策）・Ⅲ-2（地域行政政策）・Ⅳ・Ⅴ

機能看護学は、看護学生を含む看護職者の成長・発達支援とその役割と機能の発揮

に焦点を当て、究極的には、看護の対象の健康状態の維持・向上に貢献することを目指す学問です。

第1に看護教育、看護管理、看護行政など看護職者の働く環境の特徴を学ぶことを目指します。

第2にその環境の変化に柔軟に対応し、常に自らの役割を見だし、看護職者として成長発展し続けるために必要な基礎的知識・技術・態度について学びます。

第3にこれらの学習を通して、看護職者が制度的側面にも関わりその機能と役割を發揮していく重要性を学びます。

看護関連法規論

看護職者の役割と機能を支える関係諸法規の種類と実践への影響を学ぶ科目です。

看護専門職の役割と機能Ⅰ・Ⅱ-1（総合実習）・Ⅱ-2（役割移行実習）

Ⅰは、看護における様々な専門領域や諸外国における看護職者の役割と機能などを学び、その将来的な発展性や、専門性により生じる看護職者の役割の相違と本質的に共通する普遍性についても学ぶ科目です。

Ⅱは、実習を通して、専門基礎科目・専門科目において学習した内容の統合を目指す科目です。Ⅱ-1（総合実習）は、すでに学習した看護学各領域の中から、学生が関心の深い領域を選択し、実習を通して、その専門領域における既習の知識・技術を対象に適用・検証し、各看護学領域において活動する看護職者の専門性を学ぶ科目です。Ⅱ-2（役割移行実習）は、看護職者として就業する施設と類似した施設を実習フィールドとし、看護学生から看護職者への役割移行に関して学ぶ科目です。

専門的機能と看護実践

臨地において、より専門性の高い看護を必要とする人々に対して、健康上の問題を解決・回避し、その人らしく、質の高い生活を維持・回復できるよう看護実践に必要な知識・技術・態度を学ぶ科目です。

看護学研究概論・看護学研究Ⅰ（問題解決過程）・Ⅱ（EBP）

看護職者として、実践に研究成果を活用するための能力を総合的に高めていくことを意図して設置した科目です。

看護学研究概論・看護学研究Ⅰ（問題解決過程）

看護学研究概論は、看護学研究とは何か、その構造と特徴はどのようなものかを理解し、必要な研究論文を選択し、理解するために必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ科目です。看護学研究Ⅰ（問題解決過程）は、学生が小グループを形成し、看護学に関して疑問が残っている問題を明らかにし、文献検索を通してその問題を学術的に解決する過程を体験する科目です。

看護学研究Ⅱ（EBP）

看護学研究概論・看護学研究Ⅰにおいて学習した内容と、各専門教育において学習した看護学の内容を統合し、それまでの学習過程において学生個人に生じた看護実践に関わる問題を明らかにし、その問題を解決するために研究成果を活用して、実践を展開する科目です。

また、これら一連の過程を論文としてまとめる方法を学び、研究成果を活用する基礎的能力を身につけるとともに、研究成果の活用と産出に対する価値を学ぶ機会を提供します。

ウ 保健医療専門職共通専門科目

看護学部・診療放射線学部の各専門性を越えて保健医療専門職に求められる知識・技術・態度を学ぶための科目です。診療放射線学部の学生との合同授業を展開し、相互の役割について理解すると同時に、専門領域の異なる保健医療専門職の役割や機能における共通性・相違性を学びます。

この科目群によって、保健医療チームの一員としての看護職者の役割や重要性に関する理解を促進し、さらに他のチームメンバーの立場を尊重し、協働するための基礎的態度を育成します。

（3）卒業要件

看護学部看護学科を卒業するために必要な単位数は、次のとおりです。

区 分	必修	選択必修	選択
教養教育科目	4	18	区分にかかわらず12 （※このうち、専門科目を2以上取得すること）
専門基礎科目	23		
専門科目	62	2	
保健医療専門職共通専門科目	5		
計	94	20	12

合計 126 単位以上

（4）国家試験受験資格等に必要な履修要件

■看護師国家試験

（3）の卒業要件を満たすと、卒業時に「学士（看護学）」の学位が授与され、看護師の国家試験受験資格が与えられます。なお、看護学部の開設科目の種類、配当年次、単位数および必修・選択の別は、授業科目・単位一覧表（看護学部看護学科・看護師課程）のとおりです。

■保健師国家試験

平成 24 年度入学生より 1 学年 30 人を定員とする保健師選択制が導入されました。保健師課程において、（3）の卒業要件を含む下記単位を満たすと、前述のとおり卒業

時に「学士（看護学）」の学位が授与され看護師の国家試験受験資格が付与されるのに加え、保健師の国家試験受験資格が与えられます。なお、保健師課程の開設科目の種類、配当年次、単位数および必修・選択の別は、授業科目・単位一覧表（看護学部看護学科・保健師課程）のとおりです。

区 分	必修	選択必修	選択
教養教育科目	4	18	10
専門基礎科目	23		
専門科目	70	2	
保健医療専門職共通専門科目	7		
計	104	20	10

合計 134 単位以上

□養護教諭 2 種免許の申請

但し、保健師国家試験に合格した者が申請可能となります。

下記教養教育科目の必要単位を全て修得していることが要件となります。

- ・「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」「中国語」「フランス語」「ポルトガル語」「韓国語」のうち 2 単位
- ・「情報科学Ⅰ」「情報科学Ⅱ」「情報科学Ⅲ」のうち 2 単位
- ・「スポーツ科学Ⅰ」「スポーツ科学Ⅱ」「スポーツ科学Ⅲ」のうち 2 単位
- ・「法と正義」 2 単位

(5) 保健師課程における選抜試験の概要について

平成 24 年度入学生から 1 学年 30 人を定員とする保健師選択制が導入され、保健師課程を履修する場合は、選抜試験に合格する必要があります。選抜試験の概要については次のとおりです。

ア 基本方針

次の条件を満たす者とする。

- 1 保健師課程の学習に意欲を有する者
- 2 保健師としての就業を卒業時または卒業後に希望する者
- 3 保健師としての適性を有する者

イ 募集定員

30 名

ウ 出願資格

- 1 2 年次のカリキュラムを履修中の者で、2 年次前期 Semester までの必修科目の単位を修得し、2 年次後期 Semester の必修科目の単位を修得見込みの者
- 2 2 年次後期 Semester までの単位修得の合計が 80 単位程度となることが見込まれる者

エ 出願方法

所定の願書（出願動機を含む）を事務局に提出する。

オ 試験科目

- ・面接
- ・成績審査

カ 授業料

保健師課程の履修学生に対し、追加の授業料は徴収しない。

※出願期間、試験期日、合格発表日時は、「保健師課程学生選抜試験要項」に掲載します。

5 診療放射線学部の教育課程

(1) 教育目的・教育目標

診療放射線学部の教育目的・目標は次のとおりです。

ア 教育目的

本学の存在する群馬県の県民をはじめ、様々な地域に生活する多様な人々の生涯にわたる健康水準の維持、向上に貢献する方法を学ぶ。この過程を通して豊かな人間性を培い、変動する社会の中で個々の役割を担いながら、自然と共生し独自の文化を育み生活する人間に対する理解と関心を深める。

また、科学的根拠に裏付けられた専門的知識・技術及び高い倫理的判断力を身につけ、常に対象の人間としての尊厳を維持しながら、より質の高い放射線技術を提供する保健医療専門職としての基盤を築く。

イ 教育目標

- 群馬県内をはじめ、様々な地域における保健医療チームの一員として専門性を発揮し、責務を全うするための基礎的能力を育成する。
- 対象の人間としての尊厳を維持しながら、科学的根拠に基づく放射線技術を展開するための基礎的能力を育成する。
- 人間の生涯とその生活及び健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示す人材を育成する。
- 群馬県民をはじめ地域に生活する人々の健康維持・促進に対する強い使命感と高い倫理性を持つ人材を育成する。
- 人種、民族、年齢、性別などの異なるあらゆる対象の福祉に貢献する診療放射線技師としての責務を自覚し、行動する人材を育成する。
- 科学及び学術の価値を確信し、研究成果を活用した放射線技術に意義を見いだす人材を育成する。
- 将来的には、放射線技術の実践に診療放射線学研究の成果を組み入れ、放射線技術革新を促進するとともに、わが国の最高水準を満たし、群馬県のみならず国際的にも通用する新たな診療放射線技術の実践を創造・開発する人材を育成する。

(2) 専門教育科目の特徴

ア 専門基礎科目

人間理解、理工学的知識、臨床医学的知識に関する科目をバランスよく配置し、専門科目に発展させる基盤を獲得するための科目群です。最適な治療につながる実効性のある診断を行うためには、検査目的に合った質の高い画像を撮像し、提供する必要があります。そのためには理工学的基礎知識の他に、十分な医学的基礎知識を身につける必要があります。

「人間の発達と健康」「放射線科学現象と技術」「専門職的態度の基盤」の3学科目群を配置しています。

■人間の発達と健康

「環境と健康」概論・各論を配置し、人間の内部環境が、外部環境や身体的変化に

応じて統一かつ合目的に調節される仕組みを理解します。また、「人間の発達と健康」各論Ⅰ～Ⅲは人体の構造や機能及び様々な疾患を学修することで、正常の状態における生命現象並びに病気の原因やその発生機序を総合的に理解します。適切な撮像を行うために必要な科目であり、「画像診断技術学」「画像診断撮像技術学Ⅰ（X線、CT検査）」「画像診断撮像技術学Ⅱ（MRⅠ）」の理解を促進する内容が含まれます。

■放射線科学現象と技術

放射線は電子、陽子、中性子などの粒子放射線とγ線、X線などの電磁放射線に分けられます。放射線が対象（人、物）に当たったときにエネルギーを与えますが、その与え方（相互作用）は、物理的、化学的、生物学的現象として捉えることができます。「放射線科学現象学概論」「放射線科学現象学各論Ⅰ（放射線物理）」「放射線科学現象学各論Ⅱ（放射化学）」「放射線科学現象学各論Ⅲ（放射線生物）」「放射線科学現象学演習」を配置することで、放射線と対象との相互作用を様々な側面から学修します。さらに、現在の医療画像は大部分デジタル画像であるため、画像再構成、画像処理に必要な「医療数理学」「医療情報科学」を配置しました。

また、電気・電子工学的知識を獲得するために、「医療電気・電子工学」を配置しました。

■専門職的態度の基盤

「アカデミック・スキルズ」「相互行為展開論」「生命倫理学」「社会制度と福祉」「ボランティア概論」「人間と放射線」「科学技術と研究」を配置し、大学での学び方、対人関係の構築の仕方、医療における倫理規範、放射線や科学技術と人間との関わり等、専門職に求められる幅広い知識や態度の基礎を学びます。

本科目群は、専門科目の「保健医療チーム連携論Ⅰ」「保健医療チーム連携論Ⅱ（実習）」と連携し、専門職者である診療放射線技師の役割・機能を理解し、保健医療チームの一員として専門性を発揮し、地域社会に貢献するための基盤を身につけます。

イ 専門科目

多数の専門科目を、診療放射線技術学、診療画像技術学、医療画像情報学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、放射線管理計測学の6科目群に分類・配置しています。

診療放射線技術 診療画像技術 医療画像情報 核医学検査技術 放射線治療技術 放射線管理計測
--

専門科目では、診療放射線学の基礎的知識及び技術・態度の基礎を学びます。

また、目的に応じた適切な検査・治療を実施するための基礎的能力を段階的・系統的に学びます。

■診療放射線技術

診療放射線技師の仕事や医療チームにおける役割を理解し、検査・治療を安全かつ適切に実施するために必要な知識、技術、接遇、態度、規範を修得するための科目群です。保健医療専門職共通専門科目群とも密接に関連しています。「診療放射線学概論」「診療放射線技術学導入実習」は大学における学修の動機付けとして1年次に履修します。また、「臨床実習概論」では、臨床実習に必要な知識、技術、接遇を集中的に学び、その能力を客観的に評価することで、実習の効果を上げようとするものです。

■診療画像技術

約100年前のレントゲンによるX線の発見と医療への応用に始まり、20世紀後半のCT・MRIの開発に伴い、画像を用いて人間の体の中を観察する技術は飛躍的な進歩を遂げました。診療放射線技師は、医師の依頼に応じて患者の検査を行い、得られた画像を提供する仕事です。ただ、診断目的に応じた質の高い画像を得るためには読影能力を身につける必要があります。オーダーの意図を正確に理解し、診断に必要な情報が画像中に正しく描出されているかを自身で判断できる必要があります。

この能力を身につけるためには、患者が罹患している可能性のある疾患に関する医学知識、人体を構成する正常の臓器・組織が透過画像、断層像上でどのように描出されるかを知る画像解剖学的知識、様々な疾患が画像上でどのように描出されるかを知る画像診断学的知識の他に、患者とコミュニケーションしながら疾患情報を正しく画像中に含めるための撮像技術、診断しやすい特性で画像を取得するための装置パラメータ及び得られる画像の特徴の理解等を合わせた、総合的な知識・技術・態度が必要になります。

「診療画像技術学概論」「診療画像技術学Ⅰ～Ⅳ」等の科目は撮影・撮像技術の基盤を学び、「X線診断機器学」「診療画像機器学」は装置・画像の特徴を理解し、また「画像診断撮像技術学Ⅰ（X線、CT検査）」「画像診断撮像技術学Ⅱ（MRI）」は読影技術の基盤を修得する科目です。

画像診断技術学は、上記の科目の他、基礎医学系の科目の知識を総合することで、画像読影技術の基礎を修得するために配置しました。画像読影技術は、画像を伴うその他の専門科目群「医療画像情報」「核医学検査技術」「放射線治療技術」に対しても応用されます。

■医療画像情報

医療画像情報は、医療画像の品質と管理についての理論と応用を学ぶ画像工学とネットワークシステムを利用した医療情報システムに大別されます。

「医療画像情報学Ⅰ・Ⅱ」「医療画像情報学演習」「医療画像情報学実験」「医療画像情報解析学」は、画像工学に必要な知識・技術・態度について学ぶ科目です。「医療情報システム学」は、情報技術を用いて病院の診療機能の向上を目的とした病院情報システムと地域を基盤とし保健・医療・福祉の向上を目的とした地域医療情報システムについて学ぶ科目です。

■核医学検査技術

核医学検査は、放射性医薬品のトレーサとしての特徴を活かした検査です。各臓器・組織に集まる化学物質に放射性核種を標識した放射性医薬品が検査部位に集積し、出て行く様子を画像化することで、対象臓器・組織の機能の評価や疾病の診断を行います。代謝測定から分子イメージング（生体内での分子プロセスの可視化）にまで応用されつつあります。

「核医学検査技術学Ⅰ～Ⅲ」「核医学検査技術学実験」「核医学検査技術学実習」において核医学検査に必要な知識・技術・態度についての基盤を獲得します。

また、放射性医薬品の開発等に影響を受ける領域であることから「核医学検査技術学演習」において最新のトピックスを学ぶ機会を提供します。

■放射線治療技術

放射線治療技術は、悪性腫瘍に罹患した患者に対して、腫瘍細胞に体外から放射線を照射し治療を行う技術です。放射線を病巣に集中させ、正常部位への照射を最小化するための方法論を学びます。疾患の状態、治療装置の特性に応じて治療効果を最大にするための基礎的な知識・技術・態度を学ぶとともに、医師・診療放射線技師・医学物理士・看護師によるチーム医療の役割、機能について学びます。

放射線治療技術の授業科目は、放射線と物質の相互作用を学ぶ「放射線科学現象学各論Ⅰ（放射線物理）」、放射線による生物学的効果を扱う「放射線科学現象学各論Ⅲ（放射線生物）」、病巣線量の計画・評価を扱う「放射線管理計測学Ⅰ」「放射線管理計測学Ⅱ」等により修得した基礎知識が特に必要とされているため、これらの科目の学修進度を考慮して配置しました。

また、先端医療として注目を浴びている強度変調放射線治療、陽子線、重粒子線治療技術に関しても「放射線治療技術学演習」を通して学ぶことができます。

■放射線管理計測

診療放射線技術ではX線、 γ 線を用いた検査、治療が多くの割合を占めるため、放射線の医学利用の適正化、医療被ばく軽減等に必要な放射線管理測定技術の知識・技術の理解は不可欠となります。「放射線管理計測学Ⅰ」「放射線管理計測学Ⅱ」「放射線管理計測学実験」において種々の測定理論、測定器の動作原理の学修を通じた放射線の品質管理を学び、「放射線管理計測学演習」において放射線施設管理・運用・使用の許認可申請等放射線安全管理を学ぶことで、放射線管理計測技術の知識・技術・態度の基盤を育成します。

ウ 保健医療専門職共通専門科目

看護学部・診療放射線学部の専門性を越えて保健医療専門職に求められる知識・技術・態度を学ぶための科目です。看護学部の学生との合同授業を通して、相互の役割について理解すると同時に、専門領域の異なる保健医療専門職の共通性・相違性を学び、多職種連携のあり方を考察します。

この科目群によって、保健医療チームの一員としての診療放射線技師の役割や重要性を理解し、さらに他のチームメンバーの立場を尊重し、協働するための基礎的態度を育

成します。

(3) 臨床実習科目履修要件（平成 29 年度入学生以降）

診療放射線学部では、教育目的を達成し卒業生の質を担保する目的で臨床実習科目（診療画像技術学実習・核医学検査技術学実習・放射線治療技術学実習）の履修について次の要件を定めています。

3年後期終了時点の成績が次に掲げる 3 つの条件のいずれか 1 つ以上に該当する学生は、診療画像技術学実習、核医学検査技術学実習、放射線治療技術学実習の 3 科目を履修できない。

- 1) 診療画像技術学 I a、診療画像技術学 I b、診療画像技術学 II、診療画像技術学 III、診療画像技術学 IV、核医学検査技術学 I、核医学検査技術学 II、核医学検査技術学 III、放射線治療技術学 I、放射線治療技術学 II のいずれか 1 科目以上単位未修得の学生
- 2) 3 年後期までの必修科目のうち 3 科目以上単位未修得の学生
- 3) 臨床実習概論の科目が単位未修得の学生

(4) 卒業要件

診療放射線学部診療放射線学科を卒業するために必要な単位数は、次のとおりです。

区 分	必修	選択必修	選択
教養教育科目	2	16	7
専門基礎科目	27	3	
専門科目	68		
保健医療専門職共通専門科目	3		
計	100	19	7

合計 126 単位以上

以上の単位を取得すると、卒業時に「学士（放射線学）」の学位が授与され、診療放射線技師の国家試験受験資格が与えられます。

なお、診療放射線学部の開設科目の種類、配当年次、単位数および必修・選択の別は、次の一覧表のとおりです。

6 履修の手引き

(1) 単位

大学を卒業するためには、4年以上在学し、定められた単位（本学は126単位以上）を修得しなければなりません。単位とは、学修の量を示す目安となるもので、修得単位数によって卒業の可否が判定されます。1単位は45時間であり、この45時間には自己学修時間が含まれます。単位の計算方法は、授業形態や授業の効果により次のように異なります。

■講義・演習

1単位を修得するために必要な授業時間は15～30時間、自己学修時間は30～15時間です。

（注：大学では90分の授業時間を2時間とみなします。）

■実験・実習・実技

1単位を修得するために必要な授業時間は30～45時間、自己学修時間は0時間～15時間です。

大学では、教室内での授業時間が全てではありません。学科目修了時の試験や課題は、皆さんの自主的な学修を前提としており、これに合格した場合に単位が修得できる仕組みとなっています。

(2) 履修

本学の学科目には、次の4種類があります。

■必修科目

必ず履修しなければならない科目です。全ての必修科目について単位を修得しないと卒業できません。

■選択科目

大学が指定した複数の科目の中から自分の興味・関心により自由に選択できます。教養教育科目に関しては、幅広い教養を身に付けていただきたいという本学の理念から、4つの学科目群ごとに最低必要な単位数を定めています。この単位数を修得していないと卒業できませんので注意してください。（注：最低必要単位数は、学部により異なります。）

卒業するためには、4年間に各学部が指定した単位数を修得する必要があります。3・4年次になると専門科目が多くなるため、教養教育科目の選択が困難になりますので計画的に履修してください。

■自由科目

自分の興味・関心により自由に選択できますが、卒業要件としての単位数には加算されません。自由科目以外の科目で卒業に必要な単位（126単位以上）を修得する必要があります。

ア 履修計画

履修計画は、授業計画（シラバス）、学生便覧に記載されている「授業科目・単位一覧」

「卒業要件」を参考にして各自で立案する必要があります。「授業科目・単位一覧」「卒業要件」をよく確認し、効果的な学修計画、科目年次配分を計画してください。

なお、履修計画に関する質問があれば、カリキュラム・アドバイザーに相談してください。

イ 履修登録

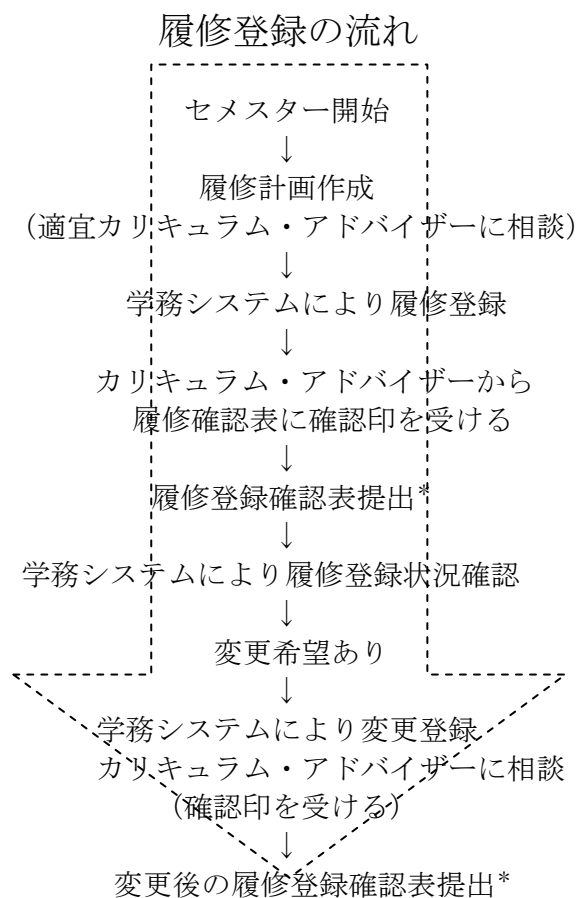
履修登録とは、前期semester及び後期semesterの開始時に、それぞれのsemesterに履修する科目を届け出る手続きのことです。

履修登録をしていない科目については、試験を受けられませんし、単位も認められません。所定の期日までに学務システムにより履修登録を済ませるとともに、履修登録確認表を事務局窓口へ提出してください。なお、履修登録確認表を提出する際には、カリキュラム・アドバイザーの確認印を受けてください。

履修登録手続きに関する問い合わせは、事務局教務係を利用してください。履修すべき科目は、皆さんの自己責任において決定し、所定の期間内に登録を完了しなければなりません。登録を怠れば、当該年度における履修の権利を放棄したことになりますので、必ず期限内に履修登録を済ませてください。

登録には、一定の変更期間を設けます。変更期間終了後の変更はできませんので、注意してください。

なお、学務システムの操作方法については「学務システム操作方法」の頁を参照してください。



*締め切り日は別途指定します。

ウ 履修制限

1年間に登録できる履修科目の上限は55単位とします。これには他大学との単位互換による単位数を含みます。

同一時限に重複する授業科目の履修は認められません。時間割の調整が可能であり、他の科目の学修に支障をきたさない場合に限り、すでに単位を修得した科目を再履修することが可能です。ただしこの場合、新たに履修した際の成績が優先されます。一度合格した科目が再履修の結果不合格になった、あるいは成績が下がったなどの場合にも、その結果が卒業の要件となりますので十分留意してください。

また、履修希望者が多く、教室定員等を超えた選択科目に関しては、履修を制限する場合があります。必要に応じて抽選等を行い、その結果を掲示します。また、時間割が年度の途中に変更となる場合もありますので、事務局掲示板等の掲示は、必ず確認する習慣をつけてください。

2年次以降の実習科目、専門科目の中には、ある一定の条件を満たさないと履修できない科目がありますので注意してください。

(3) 授業

授業の時間割はオリエンテーション時に配布されます。履修者数その他の事情により、教室や時間に変更されることもあります。その場合は、事務局掲示板に掲示しますので注意してください。

また、選択科目において、履修者数が極端に少ない場合は開講しないことがあります。

(4) 授業時間

本学の授業時間は次の通りです。

時限	授業時間
I時限	9:00～10:30
II時限	10:40～12:10
III時限	13:00～14:30
IV時限	14:40～16:10
V時限	16:20～17:50

(5) 休講

担当教員にやむを得ない事情が発生した場合などは、授業を休講することがあります。

休講の場合は、学務システムにて連絡するか事務局掲示板に掲示します。

休講の連絡・掲示がないにもかかわらず、授業開始後30分以上経過しても担当教員が入室しない場合は、事務局に連絡し、その指示に従ってください。

(6) 単位認定

各授業科目の単位認定は、試験、レポート、演習課題など科目毎に異なります。各科目が、どのような評価方法で単位認定を行うかは、授業計画（シラバス）の該当欄に記載してありますので、授業計画（シラバス）をよく確認してください。

また、単位認定試験は、セメスターの授業期間中に実施し、試験の日時は、担当教員が指定します。試験日時や試験教室は、普段の授業と異なる場合もありますので、欠席や遅刻のないように注意してください。

(7) 認定試験、追試験、再試験について

ア 認定試験

認定試験は、各セメスターの期間毎に行う試験です。以下の各項に該当する学生は試験を受けることはできません。

- 所定の授業時間数の3分の2に出席が満たない者。ただし、忌引、公の証明書のあ
る事故、その他正当な事由がある場合は欠席に含めないことがあります
- 授業料などの納付金を定められた期日までに納入していない者
- 休学、停学中の者
- 当該科目の履修届を提出していない者

認定試験を実施する際には、該当科目の科目責任者が具体的な試験方法等（シラバスの「評価方法」欄に記載）を提示いたします。提示された試験方法、注意事項等に従って受験してください。

また、受験の際には原則として学生証を提示してください。

不正行為を行った者には、当該科目の単位は与えられません。また懲戒処分の対象となることがあります。

その他、試験に関して不明な点は該当科目の科目責任者に尋ねてください。

イ 追試験

認定試験を病気、忌引き、交通事故その他やむを得ない理由で欠席した者に対して行う試験です。追試験は診断書や各々の証明書を添付した願い出（追試験願）により行います。

追試験の期日は、該当科目の科目責任者と相談の上で実施します。また、追試験を受けようとする学生は、追試験願と試験を受けられなかったことを証明する書類を指定された日（試験実施後3日以内）までに提出してください。

なお、書類を提出しても許可されなければ受験できません。

ウ 再試験

再試験は、認定試験及び追試験の不合格者について行われる試験です。本学は、原則として再試験は行いません。ただし、当該授業科目の担当教員が必要と認めた場合に限り行うことがあります。再試験を行う場合、その日時・教室等は科目責任者が指定します。

また、再試験の成績はC以下となりますので、注意してください。

(8) 評価

ア 成績評価

成績評価は、教科担当教員による試験（筆記・口頭・実技など）、レポート、講義、実習への出席及び学修態度などに基づいて行われます。

評価は100点満点とし、それぞれA、B、C、D及びFで表し、D以上の評価は合格、Fの評価は不合格とします。

成績 (100点満点)	評価	判定	科目GP (グレード・ポイント)
90点以上	A	合格	4
80点以上90点未満	B		3
70点以上80点未満	C		2
60点以上70点未満	D		1
60点未満	F	不合格	0

イ GPA制度

本学は、授業科目ごとに学修を評価するほか、グレード・ポイント・アベレージ (Grade Point Average 以下「GPA」とする。) を用いて学修指導を行います。GPAは、授業科目の成績に応じてグレード・ポイント (以下GPとする) を定め、当該授業科目の単位数を乗じ、その合計を履修した授業科目の総単位数で除して算出します。

GPA制度の導入により、成績をより厳格に評価することができます。GPA制度の導入は、皆さんに大学における学修活動を自己評価するための客観的な資料を提供するだけでなく、教員に対しても授業を自己評価するための資料を提供し、究極的には、大学全体の教育の質を高めることを目指しています。GPA制度の導入には、皆さんの学修意欲を高める他、卒業時の学力を保証するなどの意義があります。また、本学は、GPAを各種奨学生等の選考の際の資料とし、卒業時の成績証明書に記載します。

欧米の大学へ留学する際にも、GPA値の提示を求められることがあります。そのためにも常にGPAを意識して学習することが必要となります。

GPAには、セメスターGPAと累積GPAがあり、その計算方法は次の通りです。

(小数点第2位を四捨五入)

$$\text{セメスターGPA} = \frac{\text{(当該学期において履修した各授業科目の単位数} \times \text{各授業科目のGP) の和}}{\text{当該学期において履修した各授業科目の単位数の和}}$$

$$\text{累積GPA} = \frac{\text{(すべての学期において履修した各授業科目の単位数} \times \text{各授業科目のGP) の和}}{\text{全ての学期において履修した各授業科目の単位数の和}}$$

- 新入学生の既修得単位認定に関する規程、外国留学規程に基づいて認定された単位については、GPA算出の対象としません。
- 授業科目を再履修したときは、入学時からの累積GPAについては、再履修前における当該授業科目の単位数を除いて算出します。
- 不可となった科目は、再履修しない限りGP=0としてGPAに計算されます。
- 前・後期セメスターを通して開講する科目 (通年科目) のGPは、単位認定を受けた時点のセメスターGPAに計算されます。

セメスターGPAが2.0未満の場合は、カリキュラム・アドバイザーの指導を受ける必要があります。さらに3セメスター連続でセメスターGPAが2.0未満の場合、退学を含めた指導・勧告を行う場合があります。この際、必要に応じて保護者の方にも連絡する場合がありますので十分留意してください。GPA等の成績は、セメスター開始時に学務システム上に掲載するとともに、保護者（保護者がいない場合には保証人）あてに送付いたします。履修登録の基礎資料として活用してください。

GPA制度本来の目的は、大学全体の教育の質の向上と学力の保証です。カリキュラム・アドバイザー制度等を十分に活用し、退学勧告等の事態が生じないよう自律的に学修活動を改善していただくことを期待します。

ウ 成績に関する異議申し立て制度について

本学は、各セメスターの成績を配布する際に、学生の皆さんから成績評価に関する疑義を受け付けます。これは、学生側から申し立てを受けることによって、評価を是正する機会を設けることと、学生と教員間の意思疎通を図り評価の透明性を確保することを目的としています。異議申し立ての期間はセメスター毎に設定しますので、詳しくは各セメスターの始めに配布される「成績に関する異議申し立てについて」を参照してください。また、「頑張ったのになぜ評価が悪いのか」といった個人的見解に偏った疑義には対応しない場合があります。申し立ての内容には客観的かつ明確な根拠を記載してください。

7 カリキュラム・アドバイザー

本学は、カリキュラム・アドバイザーを置き、皆さんの履修計画の円滑化及び効果的な学修活動を支援します。

カリキュラム・アドバイザーは、各セメスター開始時に皆さんの履修計画に関して随時相談に応じます。また、全セメスターにおける皆さんのGPAに基づいて、学修上の相談に応じます。カリキュラム・アドバイザーに相談する際には、あらかじめアポイントメントを取り、成績通知書と履修計画表を持参してください。

履修届や履修確認表を提出する際には、事前にカリキュラム・アドバイザーの確認が必要となります。

8 既修得単位の認定

大学又は短期大学等を卒業又は中途退学し、本学に入学した者については、その大学又は短期大学等で修得した科目について、すでに単位を修得したとして認定を受けることができます。該当者は、教務係にて所定の手続きを行ってください。

9 県立公立3大学との単位互換について

本学は、県内公立3大学間（前橋工科大学、高崎経済大学、県立女子大学）との単位互換協定を締結しました。これにより、平成25年度より3大学の指定された授業科目を受講し単位を修得した場合、本学で修得した単位と認められる場合があります。

詳しくは事務局教務係までお問い合わせください。

10 学務システム操作方法

●アクセス・ログイン方法●

- 1、学務システム（ActiveAcademy）にアクセスする。
大学ホームページのバナーよりお入りください。



URL https://portal.gpwu.ac.jp/pt_webk/

- 2、ユーザーID、パスワードを入力

Active Academy ログイン画面

Webシステムへログインします。
ユーザーIDとパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押して下さい。

ユーザーID

パスワード

ログイン >>

ユーザーID：看護 = n + 学籍番号
放射 = r + 学籍番号
パスワード：初期設定は、別途通知します。
※セキュリティ向上のため、パスワードは適宜変更してください

- 3、ログイン後、左側メニューをクリックすると該当ページへ遷移します。

【注意】

「個人へのお知らせ」「連絡事項」「休補講情報」は必ず毎日確認すること。

※「個人へのお知らせ」機能を使い、至急の呼び出しをする場合もあります。

Active Academy / Portal

ログイン: 101001 群馬 太郎

Welcome 群馬 太郎さん ここはあなたの Personal Page です

ここが自分の名前になっている事を確認してください

My Schedule

日 曜 月

先週へ 2014/03/02(日)~2014/03/08(土) 次週へ

03/07(日)	03/08(月)	03/09(火)	03/10(水)	03/11(木)	03/12(金)	03/13(土)

学事日程、授業予定（履修後）、ご自身で登録されたスケジュールが表示されます

使用したいメニューをクリックします

【注意】

ActiveAcademyの画面内で、ブラウザの「戻る」ボタンを使用するとエラーになります。各種画面の遷移は、画面内のタイトルやメニューをクリックして下さい。

各メニュー機能の説明

- 学年暦
当年度の学年暦、祝日を確認できます。
- 個人へのお知らせ
あなた宛に届いた「個人へのお知らせ」を確認できます。
- 連絡事項
あなた宛に届いた「連絡事項」を確認できます。
- 休補講情報
履修している授業の休講情報、補講情報、教室変更の連絡が確認できます。
- 履修登録
履修登録を行います。

- 教員情報照会
教員の情報照会、教員からのメッセージ等を閲覧できます。
- プロフィール変更
個人の住所や電話番号、メールアドレス等を入力します。
あなた宛に届いた個人へのお知らせや連絡事項等が登録したメールアドレスに送信されます。
ただし、すべてのお知らせや連絡事項が送信されるわけではなく、緊急や重要なお知らせのみになります。
定期的にシステムへログインして、あなた宛の連絡があるかを確認してください。
※プロフィール変更方法は、45ページ参照のこと
- パスワード変更
パスワードが変更できます。変更したパスワードは忘れないようにしてください。
- 修学ポートフォリオ
ご自身の各種個人情報が確認できます。
(保証人保護者情報、成績表、履修情報)
※成績の確認方法は、46ページ参照のこと
- ログアウト
終了する場合は、ログアウトをクリックしてください。

システム使用上の注意点

- ブラウザの「戻る」ボタンは、使用しないようにしてください。
ページ上部にある各サブシステムへのリンクをクリックして画面遷移してください。



- 40分間アクションがない場合（放置）は、タイムアウトになります。残り時間が左上に表示されます。延長したい場合には右隣の「時間を延長する」ボタンを押下してください。
- ブラウザの「戻る」ボタン使用やタイムアウト等によりエラーとなった場合は、最初からログインし直してください。

●**掲示板**●

あなたの履修登録している時間割や、あなたあてのお知らせ、連絡事項が掲示されます。毎日確認してください。
 なお、学年暦上の曜日の振替は、この時間割には反映されませんのでご注意ください。

1、**閲覧方法**
 (画面上部)

掲示板

- 学年暦
- 個人へのお知らせ
- 連絡事項
- 休補講情報
- Webフォルダ

授業支援

- 履修登録
- 教員情報照会

MyInformation

- プロフィール変更
- パスワード変更
- 修学ポートフォリオ

アクセス終了

- ログアウト

My Schedule

日 週 月

先週へ 2012/02/19(日)~2012/02/25(土) 新しく予定を登録する

02/19(日)	02/20(月)	02/21(火)	02/22(水)	02/23(木)	02/24(金)	02/25(土)
国際関係論 (補講)	国際関係論 (補講)	国際関係論 (補講)		国際関係論 (補講)	国際関係論 (補講)	国際関係論 (補講)
	11:05~12:35 科学技術概論	11:05~12:35		11:05~12:35	11:05~12:35	

集中地

(画面下部)

アクセス終了

- ログアウト

あなた宛の新しいお知らせが、 3 件あります。

NEW	05/15	学生証の作成について	電翔 茂樹
NEW	05/10	メカロニクス基礎実験レポート提出について	電翔 太郎
NEW	05/08	材料力学のテキスト・教科書販売について	電翔 竜馬

※表示している日付は掲載日です。 [お知らせ一覧へ](#)

新しい連絡事項が、 6 件あります。

NEW	05/18	近隣からの注意	電翔 太郎
NEW	05/18	寮対抗球技大会を実施します	電翔 太郎
NEW	05/18	学生定期健康診断実施	電翔 太郎
NEW	05/18	海外研修・海外留学説明会	電翔 太郎
NEW	05/18	中国四川省地震の募金について	電翔 太郎
NEW	05/18	車道学の登録許可制実施	電翔 太郎

※表示している日付は掲載日です。 [連絡事項一覧へ](#)

新しい休補講情報が、 1 件あります。

NEW	補講	05/18(日)~12/31(火)	国際関係論
-----	----	-------------------	-------

※表示している日付は休業日です。 [休補講情報一覧へ](#)

2、個人へのお知らせ

あなたあてのお知らせがある場合にはこちらから確認できます。

「個人へのお知らせ」では、学年、授業履修者ごと等、各個人へのお知らせが表示されます。
Ex) 個人の呼び出し、履修科目の課題についての連絡など

先週へ	2012/02/19(日)	2012/02/20(月)	2012/02/21(火)	2012/02/22(水)	2012/02/23(木)	2012/02/24(金)	2012/02/25(土)
	国際関係論 (補講)	国際関係論 (補講)	国際関係論 (補講)	国際関係論 (補講)	国際関係論 (補講)	国際関係論 (補講)	国際関係論 (補講)
	11:05~12:35 科学技術概論	11:05~12:35 コンピュータ言語概	09:20~10:50 政治学	11:05~12:35 スポーツ1	11:05~12:35 スポーツ科学1		
	11:05~12:35 別添付ファイルあり	17:00~18:30 別添付ファイルあり	11:05~12:35 別添付ファイルあり			17:00~18:30 別添付ファイルあり	

(画面1)

新着	未読	添付	レベル	タイトル (クリックで詳細を表示)	掲載者	掲載日	有効期限	未読処理
NEW				学生算の内定について	電翔 茂樹	2010/05/15(土)	2014/12/31(火)	未読にする
NEW				メカトロニクス基礎実験レポート提出について	電翔 太郎	2010/05/10(月)	2014/12/31(火)	未読にする
NEW				材料力学のテキスト・教科書販売について	電翔 竜馬	2010/05/08(土)	2014/12/30(火)	未読にする

タイトルをクリックして内容を確認

(画面2)

お知らせの詳細を参照します

NEW 新着	掲載者:	電翔 太郎	掲載日時:	2010/05/10(月)	有効期限:	2014/12/31(火)
タイトル	メカトロニクス基礎実験レポート提出について					
内容	5月末日まで行った実験レポートを提出してください。 提出締切日:6月30日 提出場所:実験棟 303号室(録木)					
添付ファイル	メカトロニクス実験レポート.xls					

添付ファイルがついている場合があるので注意すること。

3、連絡事項

あなたあての「連絡事項」がある場合にはこちらから確認できます。
 なお、「連絡事項」は全体に周知する内容のお知らせです。

「連絡事項」では、学科学年問わず、全体に周知する内容のお知らせが表示されます。
 E) 履修ガイダンス、健康診断、卒業式に関するお知らせなど

<現在の検索条件> あなたへの連絡事項のみ

並び替え: タイトル ▼ 月曜 ▼ 並び替え

1～5件目 / 6件 1 2 次へ ▶

NEW 新着	掲載者: 電翔 太郎	掲載日時: 2010/05/18 (火)	有効期限: 2014/12/31 (水)
タイトル	近隣からの注意		
内容	皆さん、横断歩道を渡っていますか？ 赤信号で横断していませんか？ 小学生の死んでいる車での出来事。 大人として自覚のある行動をお願いします。 ゴミのポイ捨ても。		
NEW 新着	掲載者: 電翔 太郎	掲載日時:	
タイトル	慶応対校球技大会を実施します		
内容	種目: 9人制1人1ボール 日時: 6月1日(月) 9時15分開会式 場所: 第2体育館にて		
NEW 新着	掲載者: 電翔 太郎	掲載日時: 2010/05/18 (火)	有効期限: 2014/12/31 (水)
タイトル	学生定期健康診断実施		
内容	全学生受信してください。 1年生 6月1日(月) 2年生 6月2日(火) 3年生 6月3日(水) 4年生 6月4日(木) 大学院生と未受診者の4年生は上記の3日間のいずれかで受信してください。 各日の 女子 9時～10時30分 男子 10時30分～12時30分 の間 所要時間約30分です		
NEW 新着	掲載者: 電翔 太郎	掲載日時: 2010/05/18 (火)	有効期限: 2014/12/31 (水)
タイトル	海外研修・海外留学説明会		
内容	○第1回 5/12(月) ○第2回 5/14(水) 時間 16:30～18:00(5限目) 申込みは学生課まで		
NEW 新着	掲載者: 電翔 太郎	掲載日時: 2010/05/18 (火)	有効期限: 2014/12/31 (水)

「掲載者」で、どこの部署からのお知らせか分かります。

4、休補講情報

○ 新しいお知らせがあります ○ 新しい連絡事項があります ○ 新しい休補講情報があります

My Schedule

先週へ 2012/02/19(日)～2012/02/25(土) 翌週へ [新しく予定を登録する](#)

02/19(日)	02/20(月)	02/21(火)	02/22(水)	02/23(木)	02/24(金)	02/25(土)
国際関係論 (?補講)	国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講
	11:05～12:35 科学技術概論	11:05～12:35 コンピューター言語概	09:20～10:50 政治学	11:05～12:35 スポーツ1	11:05～12:35 スポーツ科学1	

集中値

「休補講情報」では、自分が履修登録している科目の休補講情報が確認できます。

(画面1)

Active Academy ログインユーザー 16A001 00 公開

トップページ 掲示板 Web申請 授業支援 就職活動支援 アンケート My Information ログアウト

休補講情報一覧 休補講情報検索 休補講情報一覧

<現在の検索条件> あなたが利用している授業の休補講情報のみ / [絞り込み再検索](#)

並び替え 授業科目名 昇順 並び替え

NEW	申請	補講期間	授業科目名	担当教員	掲載日
新着	補講	2010/05/18(火)～2014/12/31(水)	国際関係論	○ ○ 辰市	2010/02/08(月)

補講内容

[ページ先頭へ戻る](#)

● 履修登録手順 ●

1、ログイン後に、左側メニューの「履修登録」をクリックする。

(画面1)

新しいお知らせがあります 新しい連絡事項があります 新しい休補講情報があります

My Schedule

日 週 月

2012/02/19(日)～2012/02/25(土)

先週へ 翌週へ 新しく予定を登録する

	02/20(月)	02/21(火)	02/22(水)	02/23(木)	02/24(金)	02/25(土)
国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講	国際関係論 ○補講
11:05～12:35 科学技術概論	11:05～12:35 コンピューター言語概	09:20～10:50 政治学	11:05～12:35 スポーツ1	11:05～12:35 スポーツ科学1		
11:05～12:35 創造工学入門(FM 開)	17:00～18:30 創造工学入門(FM 開)	11:05～12:35 国際関係論	15:15～16:45 英語1E		17:00～18:30 文芸の世界	
集中給						

2、履修する授業を選択します。

●履修する授業の曜日・時限にある鉛筆マークをクリックします。

画面1 履修登録入力

※特別に許可された授業を選択する場合はこちらから → 個別許可授業を選択する

※ をクリックすると授業の選択ができます。 ※ 選択を取り消す場合は、チェックを外して下さい。

※ 過半授業を示します。 ※ 抽選授業を示します。 ※ 重複再履修を示します。 ※ 例外許可授業を示します。 表示内容で登録

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	
	<input checked="" type="checkbox"/> 11213 科学技術概論 風太 選択 2					
<input checked="" type="checkbox"/> 20115 情報数学基礎 成誠 選択 2						
選択	授業	授業名	担当教員	必修	単位	エラー
<input checked="" type="checkbox"/>	13505	海外語学必修	興志	選択	1	
<input checked="" type="checkbox"/>	21014	科学実験2	示	選択	1	

②履修登録したい曜日、時限のえんぴつマークをクリックします

3、履修する授業を選択します。

- クリックした曜日・時限に、自分の学科と学年に配当されている、履修可能授業の一覧が表示されます。
- 他学科配当科目を履修したい場合は、検索条件を入力し、「再検索」をクリックすることにより検索条件にあった他学科科目を履修できます。
- 一覧より履修する授業を選択してチェックを付けます。
- チェックを付いたら、「登録して戻る」をクリックします。
- 授業を登録せずに入力画面に戻るときは、「破棄して戻る」をクリックします。

【検索条件の入力】
 初期値：[学期] 現在の学期
 [曜日・時限] 選択した曜日・時限
 [学部学科] 現在の所属学科
 [学年] 現在学年
 [表示する授業] すべての授業

2010年度 春学期

STEP-1 検索条件 STEP-2 検索学生一覧

検索条件: 春学期 曜日 月曜 時限 2限
 学部学科 国際文理学部 学年 1 表示する授業 全ての授業

③履修登録したい科目の“選択”

曜日	時限	選択	重複再履修	授業	授業名	期間	担当教員	必修	単位	定員	申請人数	状態
月曜	2限	<input type="checkbox"/>	----	11205	科学技術概論	春期	爾郎	選択	2	-	236	
月曜	2限	<input type="checkbox"/>	----	20115	情報数学基礎	春期	成統	選択	2	500	238	現在選択中
月曜	2限	<input type="checkbox"/>	----	20123	情報数学基礎	春期	隼人	選択	2	-	563	
月曜	2限	<input type="checkbox"/>	----	20131	情報数学基礎	春期	信典	選択	2	-	236	

④「登録して戻る」をクリックします

登録して戻る 破棄して戻る

- 「登録して戻る」をクリックすると、選択した授業が履修登録入力画面に反映されます。

< 授業名の前にある記号 >

通年授業を示しています。

< 定員と申請人数について >

授業によって、定員数が決まっている授業があります。

定員が定められている授業（抽選授業を除く）は、定員を超えると履修出来ません。

定員を超えた場合の履修者決定方法については各授業の中で伝達されます。

画面1 履修登録入力

2008年度 春学期

	春学期	秋学期	年間
GPAなし	なし	なし	なし
上限単位	なし	なし	なし
対象単位	8	12	20
登録単位	8	12	20

選択した授業が反映される

取り消す時はチェックを外す

- 一度選択した授業を取り消す場合は、授業名称左のチェックを外します。
- 別の授業に変更する場合は、鉛筆マークをクリックして、選択済みの授業のチェックを外し、別の授業を選択します。
- この手順で、それぞれの曜日時限に履修する授業を選択していきます。

4. 選択した授業を登録します。

- それぞれの曜日時限で履修する授業の選択を終えたら「表示内容で登録」をクリックします。
- エラーチェックが行われます。
- エラーチェックの結果には[エラー無し]、[エラー]、[警告]の3種類があります。

画面1 履修登録入力

⑤すべての履修登録が終了したら、「表示内容で登録」をクリックします

5、エラー無しの場合（登録の確定）

- 入力した内容を確認します。
- これでよければ「登録確定」をクリックします。
- 授業を変更するときは、「登録変更」をクリックして履修登録入力画面戻り、再度授業を選択し直します。
- 履修登録を取りやめるときは「登録中止」をクリックします。

画面4 履修登録確定



6、エラーがある場合

- 「表示内容で登録」をクリックしたとき、エラーがある場合は、次のメッセージウィンドウが表示されて履修登録入力画面に戻ります。



- 履修登録入力画面では、履修エラーが発生した部分に、エラーマークと、エラー内容が表示されています。
- エラー内容の部分をクリックすると、エラーの詳細内容が、別ウィンドウで表示されます。
- 詳細を確認し、エラーが発生した部分の履修を変更してください。
- すべての曜日時限でエラーが無くなると、「表示内容で登録」をクリックしたときに、履修登録確定画面が表示されるようになります。エラーが無くならないと、登録が確定できません。

画面1 履修登録入力



7、警告がある場合

- 「表示内容で登録」をクリックしたとき、警告がある場合は、履修登録確定画面に進みます。
- 履修登録確定画面では、警告が発生した部分に、警告マークと、警告内容が表示されています。
- 警告内容の部分をクリックすると、エラーの詳細内容が、別ウィンドウで表示されますので、必ず詳細を確認してください。

画面4 履修登録確定

警告内容を表示。
警告表示が無くなるよう修正します
修正の必要が無い時は
そのまま登録が確定できます

警告の詳細を表示します

8、登録を終了します。

- 履修のエラーがなく、履修登録確定画面で「登録確定」をクリックすると、履修登録印刷画面に移ります。

画面5 履修登録印刷画面

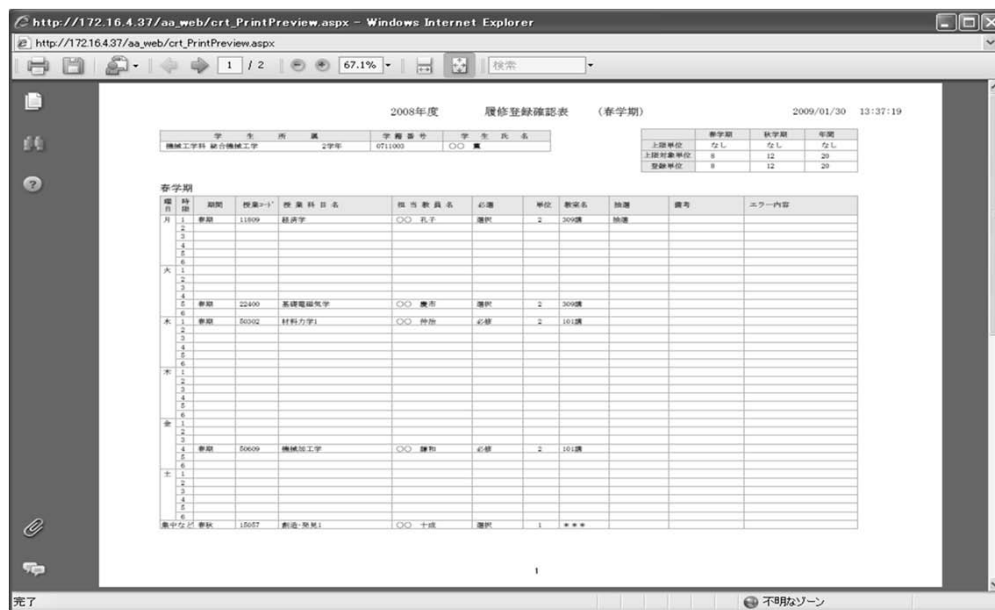
履修登録が完了しました。

期別	曜日	時限	授業	授業名	担当教員	必選	単位	注意
春秋	曜無	時無	15057	創造・発見1	〇〇 十成	選択	1	
春期	月曜	1限	11809	経済学	〇〇 孔子	選択	2	抽選
春期	火曜	5限	22400	基礎電磁気学	〇〇 廣市	選択	2	
春期	水曜	1限	50302	材料力学1	〇〇 仲治	必修	2	
春期	金曜	4限	50609	機械加工学	〇〇 謙和	必修	2	
秋期	曜無	時無	14001	インターシップ	〇〇 初恵	選択	1	
秋期	月曜	1限	52517	材料力学2S	〇〇 仲治	必修	2	
秋期	月曜	2限	10363	英語4	〇〇 清石	必修	2	
秋期	水曜	2限	52412	機械力学S	〇〇 登吉	必修	2	
秋期	水曜	3限	50714	流体力学1S	〇〇 徳家	必修	2	
秋期	木曜	2限	50807	機械設計工学	〇〇 仲治	必修	2	

確認表を印刷

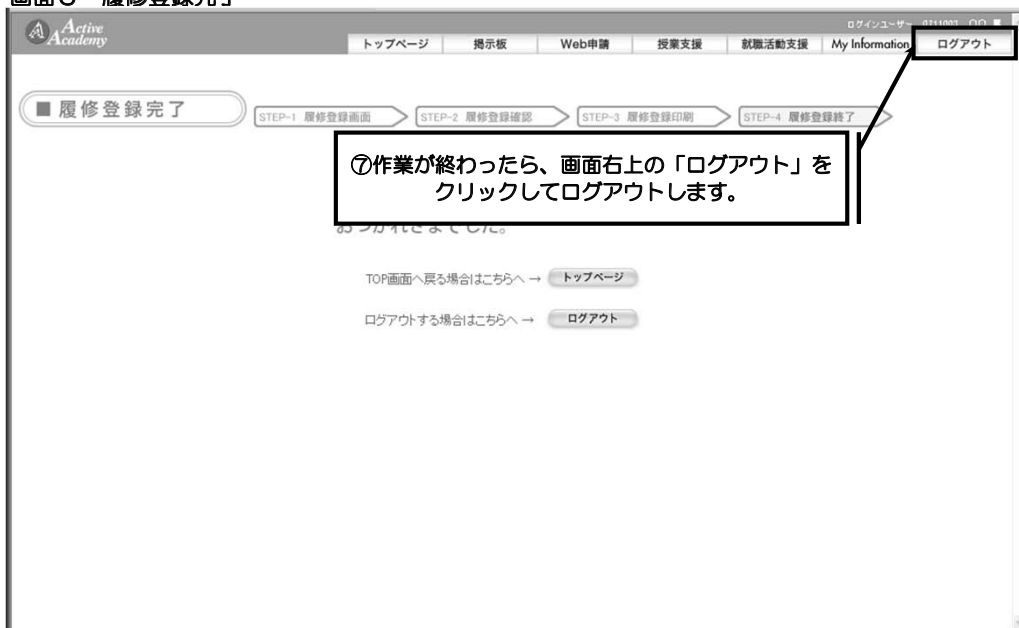
登録終了

- 「確認表を印刷」をクリックすると、履修登録内容をPDF形式で表示します。
この画面を印刷し、カリキュラムアドバイザーの押印を受けて期日までに事務局ボックスに提出してください。
※この画面が表示されない場合は、ブラウザのポップアップブロックを解除してください。



- 「登録終了」ボタンをクリックすると、履修登録終了です。

画面6 履修登録完了



● パスワード変更手順●

1、ポータル画面より、パスワード変更を起動します。

2、パスワードを変更します。

現在のパスワードを入力したあと、新しいパスワードを2回入力し、「パスワード変更」をクリックします。

画面1 パスワード変更

パスワード変更が完了します。

作業が終わったら、画面右上の「ログアウト」をクリックしてログアウトします。

● プロフィール変更手順 ●

1、ポータル画面より、プロフィール変更を起動します。



2、変更内容を入力します。なお、メールアドレスが変わった場合には必ずプロフィールのアドレス情報も更新してください。



※自宅住所や保護者の住所が変更になった場合には、学生図書係へ住所変更届も提出してください。
なお、様式はWebポータルからダウンロードできます。

●修学ポートフォリオの確認●

自分の成績・履修情報を確認できます。

(画面1)

(画面2：成績表)

成績表 ▶ 操作ボタン

選択した学生

学籍番号	学年	カナ氏名	漢字氏名
3		マルマル カンゴ	〇〇 看護

単位数集計

分野区分	◇一般教育	◇自然科学基礎	視野を広げる	人間性を養い	人間の営み	小計	◇基礎領域	人間と健康	健康支援	研究	小計	◇専門領域	専門領域Ⅰ	専門領域Ⅱ	小計	◇総合領域	小計	◆志望条件◆	自由科目	卒業要件	修得単位
	4	10	5	6	25		7	14	12	5	38		13	38	51		18	132			
	4	8	5	6	23		7	13	12		32		12	16	28		5	88			

GPA

学期	秋期	通算
	0	0

直近の学期の履修結果

分類	科目名称	試験区分	要点	評価	単位
(視野を広げる)	English for Commu II	本試験	90	A+	2
(人間性養い感性培)	日本文化研修	本試験	95	A+	1

修得成績 絞り込み ...

分類	科目名称	教員	要点	評価	単位	修得年度
(自然科学の基礎)	物理学	〇〇四郎	74	B	1	2011 春期
(自然科学の基礎)	宇宙科学	〇〇五郎	100	A+	1	2011 秋期
(自然科学の基礎)	自然科学の基礎	〇〇六郎	70	B	1	2011 春期
(自然科学の基礎)	生物学	〇〇七郎	60	C	1	2011 春期
(視野を広げる)	English for Commu I	〇〇八郎	96	A+	4	2011 秋期
(視野を広げる)	English for Commu II	〇〇九郎	90	A+	2	2012 秋期
(視野を広げる)	第2外国語(韓国語)	〇〇十郎	95	A+	2	2011 秋期
(人間性養い感性培)	日本文化研修	〇〇十一郎	95	A+	1	2012 秋期
(人間性養い感性培)	文化講座	〇〇十二郎	94	A+	1	2011 春期
(人間性養い感性培)	自然体験学習	〇〇四郎	90	A+	1	2011 春期
(人間性養い感性培)	運動科学	〇〇五郎	92	A+	1	2011 春期
(人間性養い感性培)	人間論	〇〇六郎	68	C	1	2011 春期
(人間の営みを理解)	人間の発達と行動	〇〇七郎	82	A	1	2011 春期

(画面3：履修情報)

履修情報 ▶ 操作ボタン

選択した学生

学籍番号	学年	カナ氏名	漢字氏名
		マルマル カン	〇〇 看護

前期

曜日	時間	授業科目名	期間	担当教員	エラー
曜日無	時無	Medical English I	春期	岡田 敦子	
曜日無	時無	性科学概論	春期	原藤 益子	
曜日無	時無	研究方法論	春期	高木 真文	
曜日無	時無	高齢看護学Ⅱ	春期	横井 彩子	
曜日無	時無	小児看護学演習	春期	出野 慶子	
曜日無	時無	家族看護学Ⅱ	春期	松水 佳子	
曜日無	時無	精神看護学Ⅱ	春期	山城 久典	
曜日無	時無	在宅看護学方法論	春期	尾崎 翠子	
曜日無	時無	在宅看護学概論	春期	尾崎 翠子	
曜日無	時無	コーデンクスの基礎	春期	中澤 るり子	
曜日無	時無	チーム医療演習			

後期

曜日	時間	授業科目名	期間	担当教員	エラー
曜日無	時無	高齢看護学実習			
曜日無	時無	小児看護学実習			
曜日無	時無	家族看護学実習			
曜日無	時無	精神看護学実習	秋期	山城 久典	
曜日無	時無	成人看護学実習Ⅰ	秋期	村上 好恵	
曜日無	時無	成人看護学実習Ⅱ	秋期	村岡 宏子	
曜日無	時無	在宅看護学実習	秋期	尾崎 翠子	

この履修情報画面も利用し、各自履修漏れがないように注意して下さい。
履修登録期間後も、記録として履修登録情報を閲覧できるようになっています。